

平成26年土佐清水市議会定例会3月会議 審議期間日程表

審議期間 3月4日～3月20日(17日間)

日次	月 日	曜日	会 議 別	開会時刻	議 事 内 容	備 考
第1日	3月4日	火	本 会 議	午前10時	1 再開 2 審議期間の決定 3 会議録署名議員の指名 4 諸般の報告 議会事務局長 5 議案の上程 提案理由の説明(市長) 予算・条例等内容説明(企画財政課長等) 6 散会	
第2日	3月5日	水	休 会			
第3日	3月6日	木	〃			質疑・一般質問通告書の提出期限午前11時まで
第4日	3月7日	金	〃			
第5日	3月8日	土	〃			
第6日	3月9日	日	〃			
第7日	3月10日	月	本 会 議	午前10時	質疑・一般質問	
第8日	3月11日	火	〃	午前10時	一般質問	
第9日	3月12日	水	〃	午前10時	一般質問・議案の委員会付託	
第10日	3月13日	木	休 会	午前 9時		予算決算常任委員会
第11日	3月14日	金	〃	午前 9時		予算決算常任委員会
第12日	3月15日	土	〃			
第13日	3月16日	日	〃			
第14日	3月17日	月	〃	午前 9時		総務文教常任委員会
				午後 1時		産業厚生常任委員会
第15日	3月18日	火	〃			
第16日	3月19日	水	〃			
第17日	3月20日	木	本 会 議	午前10時	1 委員長報告 2 質疑・討論 3 採決 4 議員派遣 5 散会	

発言(質疑)通告一覧表

平成26年土佐清水市議会定例会3月会議

順位	質疑者	質 疑 内 容	予算書・ 議案綴 ページ	答弁者
1	13番 橋本 敏男 君 (質疑)	<p>○ 議案第20号</p> <p>「土佐清水市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 資産割の課税率が低いのは ・ 国保運営協議会での具体的な意見 ・ 十分なコンセンサスは得られているのか ・ 低所得者への配慮 ・ 資格証明書・短期被保険者証の取り扱い ・ 25%の国保税アップと収納率 ・ 国保基盤強化協議会での協議事項「国民健康保険の運営に関する業務に係る都道府県と市町村の役割分担のあり方」の内容 ・ 国民健康保険制度については、平成29年度までをめどに順次講ずるとしているが、本市を含め市町村の意見は反映されるのか 	37～39	<p>市 民 課 長</p> <p>収納推進課長</p> <p>市 長</p>

発言(一般質問)通告一覧表

平成26年土佐清水市議会定例会3月会議

順位	質問者	質問内容	答弁者
1	12番 井村 敏雄 君 (一括質問)	1 市長の政治姿勢について ○ 平成25年12月10日のブログについて	市 長
		2 清水中学校の現状について ○ 12月議会以降の状況は ○ その後の取り組みは	教 育 長 市 長
		3 漁業振興について ○ 現在の年齢別の就業人口は ○ 漁獲高(数量・金額)の推移は ○ 今までに取り組んできた対策は ○ 今後の見通しは ○ 今後の対応と対策は	副 市 長 市 長
		4 高齢者福祉について ○ 国民年金受給者の人口は ○ そのうち生活保護基準額以下で生活している方々の人口は ○ 国保税との関連は ○ 高齢化率41.5%に対する対策は ○ 国民年金の低額受給者に対する対応は	市 民 課 長 福 祉 事 務 所 長 市 長
2	2番 森 一美 君 (一問一答)	1 災害時における避難対策等について ○ 非常食の備蓄状況について ○ 飲料水等の確保について ○ 避難訓練時の炊き出しについて ○ 実践訓練を企画してはどうか	危 機 管 理 課 長 水 道 課 長 市 長
		2 特産品の保護政策について ○ 市内の特産品目は ○ その出荷状況と販売高は ○ 低迷の原因は何か ○ 打開策	副 市 長 市 長
		3 国民健康保険事業の現況について ○ 現在の国保財政の過不足状況は ○ 不足分はどのようになるか ○ 国保税率改正案が否決されたらどのようになるか ○ 今後の見通し	市 民 課 長 市 長
		4 高齢者とのふれあい ○ いきいきサロンの感触は ○ 生の声を聞いてどのように感じたか ○ 今後の活動は	市 長

順位	質問者	質問内容	答弁者
3	3番 小川 豊治 君 (一問一答)	1 職員の分限・懲戒処分と研修の実績と計画について ○ 分限処分について ○ 懲戒処分について ○ 職員研修の実績 ○ 今後の研修計画	総務課長 副市長
		2 市勢の現状と今後、活性化に向けた行政施策について ○ 人口減少について現状認識 ○ 現在までの取り組みと効果 ○ 雇用の創出について ○ 水産業の現状と課題について ○ 今後の重点的な行政施策について	企画財政課長 副市長 市長
4	8番 岡崎 宣男 君 (一問一答)	1 道の駅の発展策について ○ 道の駅についての執行部の現状認識はどのように思っているのか。次期指定管理者は決定したか ○ 過去5年間の売り上げの推移と問題点について実情を聞かせていただきたい ○ 現在の出店者の声(苦情・要望)について把握していると思うが、どのようなことを把握しているのか。出店者の声を生かして欲しい ○ 売り場面積等店舗の構造上の問題点は如何考えるか、他の道の駅は参考にすべきと思うが如何 ○ 集荷体制など人的問題について、行政も地域おこし協力隊等を投入すべきではないのか ○ 品数は少ない地域農家等に積極的に協力を求め出店者の掘り起しをすべきと思うが如何 ○ 道の駅の発展は、出店者をはじめ地域経済に多大な効果が期待できると思うが如何 ○ 本市の道の駅のランクは低い、無限に発展の可能性はある。「寂しい道の駅」の脱却を行政・市民が協力して行っては如何	産業基盤課長 副市長 市長
5	11番 仲田 強 君 (一問一答)	1 期日前投票の改善を ○ 有権者に郵送する投票所入場券(ハガキ)の裏に「請求書兼宣誓書」の掲載を	選挙管理委員会 事務局 長
		2 観光振興について ○ 「楽しまん！はた博」の総括と本市への効果は ○ ポスト「楽しまん！はた博」についての考えを問う ○ 観光キャンペーン「リョーマの休日〜」・「高知家の食卓〜」を中心とした県の観光振興策と本市の観光振興策との連携は	副市長 市長
		3 新年度予算案について ○ 平成25年度と比べ減額予算となった理由を市民に分かりやすく説明すべき ○ 新年度予算案に市長公約がどう反映されたか	市長

順位	質問者	質問内容	答弁者
6	4番 西原 強志 君 (一問一答)	1 新清水保育所の運営及び管理について ○ 新清水保育所の運営等について ・ 職員数の実態と今後の推移状況について ・ 園児数の推移について ・ 新清水保育所の運営について ・ 3保育所統合による財政負担軽減について ・ 他の4保育所の現状と今後の運営について ・ 3保育所統合後の旧園舎(清水、旭、浦尻)の管理及び有効活用について	福祉事務所長 企画財政課長 副市長 市長
		2 水産振興について ○ 水産振興等について ・ 漁獲量及び漁獲高の推移について ・ 漁業従事者の現状と後継者対策について ・ さんご漁従事者の推移等について ・ メジカ漁従事者の推移と対応策について ・ 冷凍施設について	副市長 市長
7	6番 岡林 喜男 君 (一問一答)	1 国民健康保険税の引き上げについて ○ 国保税の滞納状況等を問う ・ 滞納世帯数 ・ 短期被保険者証交付世帯 ・ 被保険者資格証明書交付世帯数 ○ 国民健康保険税について問う ・ 所得200万円の4人家族の税額 ○ 国民健康保険制度の目的等を問う ・ 「社会保障制度に関する勧告」50年勧告と95年勧告の違いについての認識 ・ 滞納世帯数・短期証・資格証明書交付の現状認識 ・ 国保危機、保険税高騰の要因 ・ 国保税引き上げで制度の目的が果たせるのか ○ 地方自治の本旨について問う ・ 国民健康保険制度の正常な運営は市民の命と健康を守ることにある ・ 財源不足についての措置は憲法に基づいて地方自治の本旨に沿って行うべき ・ 年金の削減や消費税の引き上げが実施される中、国保税を上げるべきでない	市民課長 市長

順位	質問者	質問内容	答弁者
8	13番 橋本 敏男 君 (一問一答)	<p>1 本市産業の実態と展望</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 漁業振興 <ul style="list-style-type: none"> ・ 清水サバ・メジカ漁の現状と将来展望 ○ 観光振興 <ul style="list-style-type: none"> ・ 土佐清水市観光ビジョン(未来図) ・ インバウンド観光 ・ 足摺岬灯台点灯100年のアニバーサリー企画 ○ 商工振興 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域振興券の活用 ・ 伝統産業宗田節加工 ○ 農業振興 <ul style="list-style-type: none"> ・ 集落営農 ・ 半農半電(ソーラーシェアリング) ○ 林業振興 <ul style="list-style-type: none"> ・ (株)グリーン・エネルギー研究所(宿毛市)との連携 ・ 本市ペレットボイラーの普及と契約内容 ・ CLT生産量四国最大「高知おおとよ製材(株)」は林業振興の切り札となるのか 	<p>産業振興課長補佐</p> <p>産業基盤課長</p> <p>副市長</p> <p>市長</p>
		<p>2 再生可能エネルギー活用の意義</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 再生可能エネルギー事業の現状 ○ エネルギー自給による経済効果 ○ 災害時の電源確保 ○ 再生可能エネルギー事業展開による行政メリット ○ FITプレミアム期間(平成26年度)における戦略 	<p>環境課長</p> <p>危機管理課長</p> <p>市長</p>